

# 大人の外国語、子供の外国語

成 相 恒二\*

## はじめに

昨年8月に出席したトロントでの近接連星についてのシンポジウムやモントリオールでの国際天文学連合の総会、今年7月に京都で開催された「星の進化の基本問題」についてのシンポジウムなどで日本人の出席者を観察していると、英語を聞く力、英語を話す力が足りないために苦労している人の数は結構多いように感じられました。このことは松田卓也氏も京都シンポジウムの報告の中で述べておられます。

カナダやアメリカに行けば子供まで英語を話しているのですから、或る言葉を話す事にそれ程の才能を必要とするわけではないと思いますが、自分の行ったことのない国の言語を習得するにはそれなりの努力と訓練をしなければならないこともまた確かです。これからの日本の社会はいや応なしに国際化の路を辿らなくてはならず、外国語、特に英語を使いこなせることは国際人であるための重要な条件になります。私はこういう文を書くのに適切な人材である、というわけではないのですが、言葉のために私よりもお困りの方は多いようなので、私の知識でも何かの役に立つかと思いペンを取りました。

外国生活をすればその国の言葉が話せるようになるのではないか、という夢を抱いている人がいます。しかし大人、特に家族連れの人にとっては特に語学上達に関心を持っていない限りその夢はかなえられません。最近では日本からの留学生が多いために学生にとっても夢で終ることもあるようです。或る国に生活すると行動のパターンはわかるようになるが、語学の訓練はそれとは別に必要だと思います。もっともテレビ、ラジオ、新聞など訓練の素材は容易に手の届く所にあるので、心掛け次第ではかなり話せるようになる可能性はあります。子供や学生が日本人のいない学校に入ると訓練せざるをえない環境に置かれたことになり、話せるようになるのが普通です。

言葉というものは意思を通じさせるための手段ですから、大事なのは言葉そのものではなくて内容です。自分のやっている天文学の研究のことを一人の相手に説明したら、自分の英語は拙いにもかかわらず理解してくれた、というような経験をお持ちの方は多いと思います。たいていの場合、相手は忍耐強く内容を理解しようと努

めてくれます。ところが会議のように1対多教、または多数対1になると相手に忍耐を求めるわけには行きません。会議の日程は語学力の不足している人のことを考慮して組んであるわけではないからです。そこで内容の外に道具も上手に使える訓練をしなくてはならない、ということになります。

## 練習の心得

大人になると「金はあるが時間がない」という人が方がその反対の人よりも多いのではないかと思います。そこで自分の性格や生活パターンに合った方法を幾つか見つけることをおすすめします。私は基本的には大人になったら「金をかけて」練習するのが良いと思いますが、その理由は良い教材や良い環境が得られるということのほかに、「金を払った」という事で自分に訓練を強制するからです。金のかかる方法としては会話学校、カセットの講座、個人教授、外国旅行などが考えられます。金のかからない方法については後で詳しく説明します。

もう一つ大事なことがあります。それは何回でも始める、ということです。(2回目以後に始めるにはその前に始めた練習を止めている!!) 大人は本業を持っているので語学練習に割く時間がなくなることがあっても当たり前です。

中学で英語を習い始めてから十数年にもなるのにまだ話せないことを苦にしていらっしゃる人もいるでしょう。でも、この原因は練習量の不足と思われます。例えば読書量を考えて見ましょう。自分が生まれて以来読んだ英語の本を本棚に並べると、教科書を入れても1mにならないのではないでしょうか? 子供の本棚を見ていると小学校卒業までに5mは楽に越すようです。高校生位になると新聞まで入れれば数十mに相当する分は読んでいるでしょう。学校で基本は教わっているですから、後は自分の努力次第で話せるようになる筈だと思います。なにしろ外国に行けば子供にいたる迄その国の言葉を話しているのですから。

## 金のかからない練習法

### 1. シラブルについて:

昔、研究社から出版された吉野義人著、科学的英会話独習法という本のはじめの方に日本語と英語のシラブルの違いが説明してあり、これは大変参考になります。この本は絶版になっていて手に入らないのは残念です。

\* 東京天文台 Kyoji Nariai

さて、次の文を拍子を取りながら読んで見て下さい。

I went to Yokohama.

7拍で読んだ人がいたら、その人は合格です。たいていの人は5拍で読んだ筈です。違いは横浜の発音にあります。日本語をローマ字書きすると全部母音がついていますが、発音する時には英語のように母音を一つづきり離さずに Yoko-hama と 2 拍に読みます。これに対して英語では Yo-ko-ha-ma と 4 拍に読みます。そして母音と母音の間隔は等しくなっています。ではもう一つテストです。次の文を拍子を取りながら読んで下さい。

Thank you very much.

5拍で読めたら及第、4拍の人は落第です。very には2つシラブルがあるから2拍で読まなければなりません。

さて、この二つがわかった後で適当な練習をすると、読む速さ聞く能力がぐんと向上します。吉野氏の本を探し出してその中の例文を練習しても良いし、それほどまでにしなくとも自分が本を読む時に 1 シラブル = 1 拍子ということに注意していればそれだけで充分な練習になります。音読、黙読の速さが速くなります。

## 2. カセットをこわそう:

次は耳の訓練です。FEN (アメリカの極東軍ラジオ放送) のニュースを使うのが一番良いようですが、FEN の受からない所ではほかの材料を使って下さい。一つのニュース、または話の段落がつく所までをカセットに録音します。時間にして一分にならないでしょう。そしてはじめの方から聞きながら書き取ります。一ぺんに沢山聞いてもわからないから、一語づつ順々に聞いてください。どうしても聞き取れない所は空白にしておきましょう。一つの文章 (10~20 秒) を書き終るのに初めての人は 5 分以上かかる筈です。3 人称単数の s, 過去の-ed 等は中学で習っていることですから聞きもらさないように特に注意してください。一つの文が済んだ所で初めから聞き直すと最初は全くきこえなかった語句が良くわかる筈です。一つのニュースは 3 つか 4 つの文で構成されているのが普通ですから、書き取りに 20 分から 30 分はかかるでしょう。この練習をやる時にはカセット・レコーダーがこわれても良いつもりでやってください。こわれても個人レッスンにくらべればはるかにやすいし、それに最近のカセットの器械はなかなかこわれません。

近くに英語の達者な人がいたら、カセットと書き取った紙を持っていって直して貰うと、独りで聞いていた時にはどうしてもわからなかった所がわかるようになります。直される所が沢山あってもがっかりしないでください。私の今までの添削する側の経験では紙が真赤になるのはザラで、一番良い人でも一つのニュースについて誤

りは 10 位はありましたから。

## 3. ラジオ・テレビ講座:

こんなに良い番組があるのにそれも使わないでいて「私は英語が話せません」と繰返しているようではいけません。この講座にもいろいろな利用法が考えられます。テキストを予習しておいてから聴く、放送の時だけテキストを見る、テキストを買わないでもわかるようになる訓練をする、寸劇の所を録音しておいて繰返し聞く……です。「お前は英語をなかなか良く話せるな、どこで覚えたんだい?」とアメリカ人に聞かれたら私は「日本でラジオやテレビの講座を使って」と答えることにしています。十年程前に NASA のガードー・スペース・フライト・センターで 2 年間過した経験が役に立っていないわけではありませんが、滞在中に上達したとすればその前に日本でラジオ・テレビの番組にお世話になっていたからこそだと思っています。

## 4. 電 話:

機会があれば電話の会話をすることもおすすめします。1 対 1 だと話は通じるというは面と向い合っている時だけで、その時はアーウーと時間つなぎをしても相手は辛抱してくれるでしょう。しかし電話の場合はそうはいかないからです。

## 5. 知っている本を読む:

内容がわかっている本は途中で知らない単語があつても読み通せるものです。私はアンデルセンやグリムの童話集を愛用しています。何しろその国の子供はわかる程度の単語が使ってある筈ですし、どうしてもわからない所があれば子供の本棚から日本語訳を引っ張り出してくれれば問題落着です。童話がむずかしい人は絵本からはじめると良いでしょう。ただしこの方が高くなります。本棚の長さを稼ぐにはこちらが有利ですが。

## 書く練習

論文を書いたことのある人は指導の先生に散々いわくなる程直されて、赤字で原稿が見えなくなったという経験をお持ちでしょう。論文を書くのもはじめてなら、英語の文章を数ページにわたって書くこともはじめてでしょうからこうなるのはごく当たり前のことです。論文を書く場合には内容、英文の両面から何回でも推敲してください。日本物理学会発行の別刷集「Journal の論文を良くするために」(1963 年) は大変参考になると思います。

## 子供の外国語

終りになりましたが子供の外国語習得についての私見を述べて置きます。親の外国出張などで家族ぐるみ外国生活を数年経験するのはそれほど珍らしいことではなく

なりました。子供が学校に行く年令だと当然その学校に行き、数ヶ月もたてば良く話せるようになります。

この文のはじめの方で言葉は意思を通じさせるための手段だと申し上げました。何か目的があつてその道具として言葉は使われるのです。たとえば天文学者にとっての目的は天文学の研究で、各国の研究者と意見の交換をするために共通の言葉が必要なのです。ですから研究はほどほどにして語学だけ上達しても意味がありません。子供の場合は遊びが目的になると思います。親についてさっぱりわけのわからない所に来てしまったが、何とかして新しい友達とは遊びたい。遊ぶためには言葉も覚えなければいけない、というわけで子供ながらに外国語を必死になって覚えるのです。

このことは逆にいうと日本に帰ったら外国語は忘れなければならない、ということになります。なまじ変な言葉を覚えていて使ったりすると近所の子供から仲間外れにもされかねません。日本での遊びには日本語で充分なのです。「折角覚えたものを忘れさせるのは惜しい」などというのは教育ママの意見。それまでの外国生活という日本でのプランクの上に「忘れないための勉強」という新たな重荷を子供に押しつけない方が良いのではないかと私は思います。これには2つ例外があります。1つは両親が自由にその言葉を話し、日常生活に2ヶ国語使っている場合（国際結婚の場合）、もう1つは子供が帰国時に中学生位の年令に達していて外国語を習得することに自分から熱意を示す場合です。

### 豆 辞 典

#### 「CAMAC」

多種類の信号を多種類の機器間でやりとりする場合にこれを専用の線でいちいちつなげないと大変複雑になると。そこでこれらの信号を共通の線（バス線……誰でも乗れるという意味でのバス路線のアナロジー）に載せてしまうことで能率の良いシステムができることがある。これがうまくいっている例がコンピュータの場合である。バス線結合では互換性・拡張性などのメリットがある。

この考えを測定機器の間で実現したもののがひとつが「CAMAC」である。もともとヨーロッパにおける高エネルギー実験物理学分野で、加速器を使う実験などの際の測定機器の互換性の必要から制定された規格である。この規格は電気的レベルの規定から、匡体の寸法に至るまでのレベルの規定をふくむ。語源を知つてわかった気持になれる人のために、Computer Automated Measurement And Control.

これに対して、HP-IB (GP-IB とも IEEE-488 バスともいわれる) バスがもうひとつの有力なシステムで、東京天文台野辺山宇宙電波観測所の大型宇宙電波望遠鏡ではこちらを採用している、

(平林 久)

### 丸善の出版書

一頁一頁から新しい発見を!!

# 理科年表

A6 / 定価 860 円

#### ●改訂のポイント●

56年版では、土星などの惑星の環について詳細なデータ、また、気象では生物季節、不快日数など日常生活に身近なデータ、さらに生化学的知識の簡単な、かつエッセンシャルな数直を新しく収載。最近の火山の噴火などにより、火山被害、構成岩石など、火山の詳しいカルテ及び分布図を一新。電波の利用についてもその解説と応用データを付け加えている。

#### ●「理科年表」をより有効に使うために……

「理科年表」に収録されている様々なデータの意味や読み方、そしてその背後にある興味深い科学知識の数々を、多くのイラスト・写真をまじえ、やさしく解説するユニークな科学読本。

#### 理科年表読本

# 気象と気候

高橋 浩一郎 他著 B6 / 定価 1,200 円

#### 理科年表読本

# 地震と火山

宇佐美 龍夫 他著 B6 / 定価 1,200 円

### 丸善 出版部

[〒103] 東京都中央区日本橋3-9-2

第二丸善ビル ☎(03)272-0331